

【用語説明】

あ行	
アクセス道路	都市施設など、ある目的となる地点へ通行するための道路。
茨城県常磐線整備促進期成同盟会	茨城県及びＪＲ常磐線沿線の市町村で構成され、ＪＲ常磐線の整備及び利用促進を図ることを目的とした団体。
茨城県南常磐線輸送力増強期成同盟会	ＪＲ常磐線沿線の県南市町村で構成され、ＪＲ常磐線の整備及び利用促進を図ることを目的とした団体。

か行	
回遊性	買い物客などが、店舗内や商店街を歩き回ること。
(仮称) 県南広域道路	当市の南部を通過し、茨城県南部を広域的に連絡する道路。
過疎地有償運送	人口の集積が少ないことからバスなどの公共交通機関による輸送サービスが十分に満たされていない地域において、ＮＰＯなどの非営利団体が有償にて行なう輸送サービス。
カバー圏域	路線バスやコミュニティバス等の利用可能な範囲。一般的にはバス停留所から半径 300m 程度。
環境負荷	人の活動が、人を取巻く環境に対し各種の干渉を生じ、自然に負荷を生じさせること。
関鉄ふれ愛パス	70 歳以上の方を対象に販売される関鉄グループの一般乗合バス共通全線フリー定期券。
圏央道	正式な道路名は首都圏中央連絡自動車道といい、圏央道はその略称。都心から半径およそ 40km～60km の位置に計画された延長約 300km の高規格幹線道路。
交通結節点	人や物の輸送において、複数の同種あるいは異種の交通手段の接続（「交通機関の乗り換え・乗り継ぎ」）が行われる場所。
交通政策基本法	交通政策に関する基本理念やその実現に向けた施策、国や自治体等の果たすべき役割などを定める基本的な法律。平成 25（2013）年 12 月公布。
交通モード	交通機関又はその手段。
高齢者運転免許自主返納支援事業	70歳以上の高齢者が自主的に運転免許の全部を返納した場合に、1年間有効のコミュニティバス無料乗車券を発行する市独自の事業。平成 24（2012）年 4 月事業開始。
高齢者公共交通定期券「おたっしやパス」	70 歳以上の方を対象に、路線バスとコミュニティバスが自由に利用できる市独自の定期券。平成 24（2012）年 4 月から販売開始。
個人属性	年齢や性別などの個人の情報。
コミュニティバス	市町村などの自治体が、住民の移動手段を確保するために運行するバスで、公共施設や商業施設など住民生活に密着した施設にアクセスしている。本市のコミュニティバスの愛称は「龍ゆうバス（循環ルート）龍ぐうバス（A～Eルート）」。 平成 14（2002）年 7 月から運行。
コンセプト	概念。基本的な観点・考え方。
コンパクトシティ	都市的土地利用の郊外への拡大を抑制すると同時に中心市街地の活性化が図られた、生活に必要な諸機能が近接した効率的で持続可能な都市、もしくはそれを目指した都市政策。

さ行	
サイクルアンドライド	まちなかへの自動車の流入を抑制して、バス・電車の利用を促進するために、自転車でバス停留所・駅に来てバス・電車に乗り換えるシステム。
サイクルトレイン	車内に自転車を持ち込むことができるサービス。
市民窓口ステーション	北竜台ショッピングセンター内に設置された本市の出張所。
シャトルバス	イベントや空港・観光地など特定の目的地を利用する客を効率的に輸送するため短い間隔で運行するバス。
住民基本台帳	市町村長又は特別区区長が、住民全体の住民票を世帯ごとに編成し作成する公簿。
常磐線東海道線乗り入れ推進協議会	J R常磐線沿線の県南地区の自治体、商工会及び青年会議所等で構成され、J R常磐線の東海道線への乗り入れや輸送力増強等の促進を図ることを目的とした団体。
シームレス	複数の交通手段の接続性を改良すること。
新都市拠点地区	商業・サービス機能や交流機能などを誘導することで都市全体の魅力を高めるための土地利用を検討している関東鉄道竜ヶ崎駅の北側の地区（エリア）。
スクールバス	学生・生徒の通学を目的として運行されるバス。
ストックのマネジメント	既存の建築物等の資源や資産を有効に管理・活用し、長寿命化を図る体系的な手法。
スローガン	主義・主張。
ゾーン運賃	同一ゾーン内は均一料金として運賃をゾーンでまとめることで区間制運賃のわずらわしさを解消し、シームレス性（乗り継ぎのしやすさ）を高め、地域公共交通の利便性を高める施策。

た行	
多極ネットワーク型	数か所の拠点（生活拠点や都市機能拠点）を設け、それを中心市街地などと高頻度の公共交通網（鉄道やバス等）で結ぶもの。
地域公共交通	鉄道やバスなど、不特定多数の人の利用が可能で、人の移動を支える交通機関又は交通手段。
地域公共交通再編実施計画	路線網の再編、デマンド交通への転換等を組み合わせつつ、地域公共交通ネットワークの再構築を図るための事業（地域公共交通再編事業）を具体的に実施するための任意の計画。
千葉・茨城道路	圏央道と千葉ニュータウン方面を結ぶ地域高規格道路候補路線。現在は、美浦栄線バイパスとして整備中。
昼間人口	常住人口に他の地域から通勤してくる人口（流入人口）を足し、さらに他の地域へ通勤する人口（流出人口）を引いた人口。
昼間割引	市内のバス交通を一体的なシステムと捉えるため、運賃に関しても整合を図ることを目的に、コミュニティバスが運行する8時から17時までの昼間時間帯に限り、民間路線バスの運賃を一定額を上限として割り引く本市独自のサービス。平成14（2002）年7月のコミュニティバスの運行開始に合わせ導入。
つくばエクスプレス	東京都千代田区の秋葉原駅と茨城県つくば市のつくば駅を結ぶ首都圏新都市鉄道の鉄道路線。

た行	
低床バス	床面を低く作り、入り口の段差を小さくして乗降しやすくしたバス。
デマンド交通	利用者の要求に応じて運行する形態の交通手段。
電気転てつ機	列車を1つのレールから他のレールへ移動させるときに使われる分岐器。
東京都市圏パーソントリップ調査	東京都市圏において「どのような人が」「どのような目的で」「どこからどこへ」「どのような交通手段で」移動したかなどを把握する調査。鉄道や自動車、徒歩といった各交通手段の利用割合や交通量などを求めることができる。10年に1度実施される。
特定土地区画整理事業	「大都市地域における住宅地等の供給の促進に関する特別措置法」に基づいて土地区画整理促進区域内で行なう土地区画整理事業で、集合農地区や共同住宅区の設定、申し出換地など、一般の土地区画整理事業と比較して各種特例が設けられている。

な行	
ノーマイカーデー	慢性交通渋滞緩和、排出ガス減少を目指し、期日を決めてマイカーの使用自粛を求めるキャンペーン。
乗合タクシー	公共交通空白地帯の移動手段として、民間タクシー事業者の車両を活用し、自宅と目的地、目的地と目的地を送迎しコミュニティバスを補完する交通システム。本市の乗合タクシーの愛称は「龍タク」。平成24(2012)年7月から運行。
ノンステップバス	床面を超低床構造として乗降ステップをなくし、高齢者や子どもにも乗り降りが容易なバス。

は行	
バスターミナル	バス停留所の内、複数のバス路線の発着点（バス停留所）として設置されている施設。
バスベイ	バス専用の停車スペース。
バスロケーションシステム	GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停留所の表示板や携帯電話、パソコンに情報提供するシステム。
パターンダイヤ	列車やバスなどの地域公共交通機関が、一定の間隔で周期的に運行されること。
バリアフリー	日常生活や社会生活における物理的、心理的な障がいや、情報に関わる障壁などを取り除いていくこと。
福祉有償運送	社会福祉法人やNPO法人等が一人では地域公共交通機関を利用することが困難な身体障がい者や要介護者等に運送を行うもの。
ブランディング	ブランドを構築するための組織的かつ長期的な取り組み。
ふるさと龍ヶ崎戦略プラン	本市におけるまちづくりの基本方向を示す最上位計画。
ふれあいバス	主に総合福祉センターを利用する方を対象として運行されていたバス。コミュニティバスの運行開始に伴って廃止。
ふれ愛広場	市社会福祉協議会とボランティア連絡協議会が、障がいのある人もない人も平等に生きていける社会を目指して開催するイベント。

ま行	
まちづくり市民アンケート	市民のまちづくりに関する満足度や市が実施している施策・サービスに対する評価を把握するためのアンケート調査。
道の駅	各自治体と道路管理者が連携して設置し、国土交通省により登録された、駐車場・休憩施設・地域振興施設が一体となった道路施設。
無作為抽出	調査対象をある母集団（調査対象の全体）からランダム（無作為）に標本抽出（サンプリング）する行為。
メッシュデータ	地域を格子状に区切った単位で、その範囲における情報を格納したデータ。
モビリティ・マネジメント	多様な交通施策を活用し、個人や組織・地域のモビリティ（移動状況）が社会にも個人にも望ましい方向へ自発的に変化することを促す取り組み。

や行	
夜間人口	夜間に常住する人口。
八坂神社祇園祭	八坂神社の夏の祭礼。毎年7月下旬に3日間行われ、最終日には龍ヶ崎市国選択・県指定無形文化財の「撞舞」が行われる。

ら行	
ランドセルチケット	市独自の通学のためにコミュニティバスを利用する小学生用乗車回数券。10枚1組500円で販売。平成23（2011）年11月販売開始。
龍ヶ崎市都市計画マスタープラン	都市計画法第18条の2に位置付けられている本市の都市計画に関する基本的な方針を明らかにするための計画。
レンタサイクル	自転車を貸し出す事業。

I	
ICカード	キャッシュカード大のプラスチック製カードに極めて薄い半導体集積回路（ICチップ）を埋め込み、情報を記録できるようにしたカード。電子マネーやテレホンカードなどに応用されている。 公共交通に関わるICカードとして、首都圏では「パスモ」や「スイカ」等があり、鉄道やバスなどの公共交通機関を利用する際の運賃支払いの手段として利用できる。

K	
KPI	Key Performance Indicators の略（重要業績評価指標） 組織や事業、事務の目標の達成度合いを計る定量的な指標。
K&R	Kiss and Ride（キスアンドライドの略） 自宅から地域公共交通機関の乗降所（駅やバス停留所など）まで自動車等で家族（主に配偶者）に送り迎えをしてもらう通勤・通学形態。

N	
NPO	非営利団体や非営利での社会貢献活動や慈善活動を行う市民団体。

T	
TMA	Transportation Management Associations の略 通勤交通の自主管理を目的として、複数企業が形成する組合。